新連載

第７回

サッシバカ、明ちゃんの

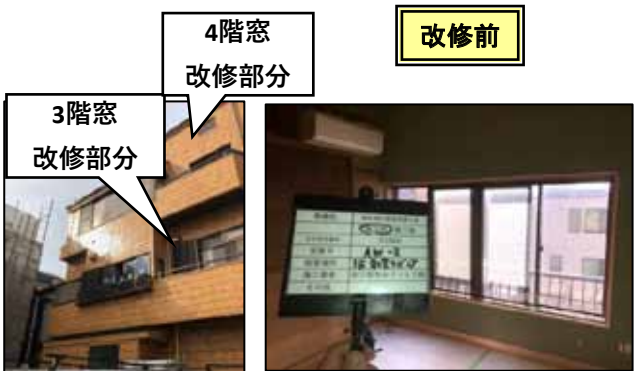
アルミ樹脂カバー工法

補助金事例解説・壁断熱パネル施工

（話し手）㈲アドオフィス　代表　明官（みょう）徹（みょうかんとおる）

次世代　S邸施工記録

現場名　：S 邸改修工事
場所　　：葛飾区
工期　　：2021 年 1 月 26 日
施工業者：㈲アドオフィス
販売店　：㈱タナチョー
施工　　：信田・原・明官
元請け　：㈱三原防水 . 工務
建物　　：築 40 年 S 造戸建て 4 階住宅
内容　　：アルミ樹脂サッシカバー工法
　　：JD パネル　京壁塗り全体
撮影　　：明官（㈲アドオフィス）



経産省補助金５月スタート

経産省・東京都・葛飾区の補助金三重取り

今回は断熱改修の補助金事例の紹介です。

写真は、１月に工事を行った葛飾区のS邸です。築40年S造ALC4階建の3階の和室でアルミ樹脂サッシにカバー工法で施工。壁一面に断熱パネル施工を行い、雨戸付きサッシの枠を残しアルミ樹脂サッシを設置。

経産省の次世代補助金は断熱パネルの施工が必須ですが、居室・浴室・トイレ・玄関等でも１面の壁を断熱施工すれば、カバー工法等の費用も含めて、集合住宅で最高１２５万円、戸建住宅で最高２００万円という今までにない手厚い補助金になっています。今回経産省・東京都・葛飾区に申請し、掛かる費用の64％が補助金としてお施主様に振り込まれました。

国と都と市町村の補助金は三重取りが可能です。補助金は今年５月からスタートしますので今から準備に取り掛かりましょう。

改修動機
一昨年の台風時にサッシの下枠から漏水、飛来物に関しても心配されており、防災ガラス窓を提案しました。
補助金、経産省・東京都・葛飾区三重取り

３階壁断熱パネル施工

アルミ樹脂サッシカバー工法の解説

断熱パネルの施工方法としては、和室の芯壁に桟木を打ち付けて下地として、断熱パネル（アキレス製ＪＤパネル）を施工します。

赤く線引きしている部分が断

パネル取り付け

パネル完成
この後全体を京壁塗り

JD断熱パネルで
改修した部分

京壁に塗ってアルミ樹脂サッシを入れたところ
外皮を断熱パネルで断熱
窓をアルミ樹脂サッシに改修
お施主様からは暖房の利きがよくなったと、
次回は隣の和室の改修を希望

熱パネルの施工部分です。
施工後は部屋全体を京壁仕上げとします。
雨戸付きサッシはアルミ樹脂サッシにカバー工法で改修します。
今回は雨戸の戸板と、内部の木建具に干渉しないように配慮して額縁を施工しました。

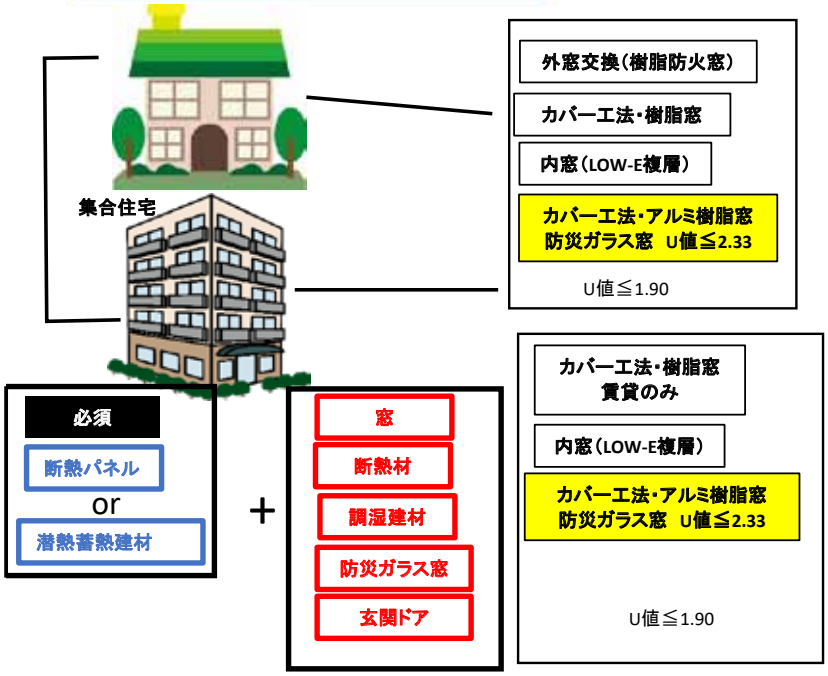
次世代補助金のスキーム

経産省、東京都、葛飾区の補助金利用

次世代省エネ建材　対象となる住宅・申請者は、既存の戸建住宅および集合住宅の所有者になります。賃貸建物も申請できます。集合住宅は複数住戸の申請も可能です。

新築や社宅・寮、オフィスやホテル・店舗などの業務用の建物および別荘のような常時居住しない建物は対象外となります。

店舗と住宅が一体となった建物の場合は「電気」・「ガス」な



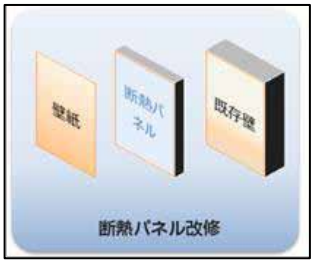
経産省の次世代省エネ建材補助金を獲得しよう！

↓

令和3年5月スタート予定

↓

条件：分譲マンション・非木造戸建住宅
①（外気に面する）壁1面を断熱パネルで改修（必須）+
②アルミ樹脂サッシ（防災合わせ複層ガラス）カバーで改修



＋

防災ガラス窓
アルミ樹脂複合

↓

かかる費用の1/2　マンション最高125万円まで
戸建て最高200万円まで支給

どの光熱費が店舗部分と居住する部分とで分けて管理できることと断熱工事が区分されていることが必要になります。

マンションなどの集合住宅ではエントランス・ロビー・ゲストルーム・管理人室および内廊下など居住部分以外は対象外です。この補助金は断熱パネルや潜熱蓄熱建材の壁1面への施工が必須で、これをクリアーすればカバー工法や内窓の施工も含めて2分の1が補助されます。

令和3年度の経産省次世代省エネ建材補助事業は5月スタート予定です。

今から準備しましょう。

今回防災ガラス窓の仕様にすることで、アルミ樹脂サッシの選択が可能になります。

ガラスは3㎜と3㎜のガラスに60ミルの樹脂膜を入れて合わせガラスとし、さらに複層ガラスにします。

これなら台風時に木片等が飛んできても貫通することがありません。

これでかかる費用の2分の1、集合住宅で最高125万円まで、戸建て住宅で最高200万円まで補助金が支給されます。さらに今回はこれに合わせて、東京都（6分の1、最高50万円まで）葛飾区（4分の1、最高20万円）の補助金まで支給されます。

S邸の補助金の内容

実際の物件での補助金シミュレーション

S邸の工事費と補助金の内訳について解説します。

今回の工事費用は、アルミ樹脂サッシで91万3００円、パネル工事で19万7５００円、その他含めて総額１２７万５８００円となります。

これに対して次世代で補助金が45万７６５０円、東京都で15万３０００円、葛飾区で20万円、合計81万６５０円の補助金が支給され、かかる費用の64％が賄えます。

このような補助金三重取りのスキームは、ほとんど知られていないこともあり、昨年度は補助金の申請が伸びませんでした。

今期は私がこの紙面でアピールして申請を増やすつもりです。希望があれば詳しく説明をしますので、いつでもお声掛けください。

また巻末のＱＲコードでの解説動画もご覧ください。

S邸内訳	費用　税抜き
アルミ樹脂サッシ材工 ・引き違い　W1700×H2200 ・四枚建て　W2517×H1300 ・防災安全ガラス（3ミリ+60ミル+3ミリ+A+3ミリ）	910,300
パネル工事　材工(JDパネル　京壁）	197,500
共通仮設工事	128,000
処分費	25,000
諸経費	15,000
	1,275,800

■ かかる費用の半分以上が補助金として支給されました。

■ 今回は真壁から大壁に改修。

断熱壁改修以外に部屋全体の京壁塗りが含まれています。

通常の断熱パネルとクロスであれば金額が下がり、補助率も 70%を超えると思われます。

【問合せ先】

究極のカバー工法研究会

創業 28 年

㈲アドオフィス一級建築士事務所

代表取締役社長　明官（みょうかん）　徹

携帯：090-5821-8096
Mail：adooffice@mbe.nifty.com
HP：http:/adooffice.net
ブログ：http://myoukan.blog.fc2.com/

YouTube; Google 検索解説
下記よりご確認ください
https://youtu.be/aeOVCPC5j38

QR コード「解説動画」

究極のカバー工法　PART2
解説動画
https://youtu.be/szcuNBVZ5s8

施工解説動画
https://youtu.be/LtyilrEfE48

QR コード「補助金解説」

◆施工協力店大募集中！

① 経産省　次世代補助金

（2 分の 1 補助）

91 万 5300 円÷２＝ **45 万 7650 円**

② 東京都　補助金

（6 分の 1 補助）

91 万 8300 円÷６＝ **15 万 3000 円**

③ 葛飾区　補助金

（4 分の 1 補助 / 上限 20 万円）

91 万 5300 円÷ 4 ＝ **20 万円**

■ 補助金合計　81 万 650 円

■ 補助金率

81 万 650 円÷ 127 万 5800 円＝ **64%**

（注）各補助金ごとに算出方法が異なります